

ハイパーオイルポンプ KIT		商品コード: 331-1083600
適合車種		
下記のウルトラクラッチ KIT 装着車 (クラッチユニットが二次側 [メインシャフト側] のエンジン仕様) に限る モンキー/ゴリラ (FNO,Z50J-2000001 ~ /AB27-1000001 ~ 1899999) / モンキー (FI) (FNO,AB27-1900001 ~) モンキーバハ 全車種 / モンキー R/RT 全車種		
スーパーカブ 50 (AA04) / スーパーカブ 110/プロ (JA07) / スーパーカブ 110 (JA10) / クロスカブ (JA10-4000001 ~)		
仕様	吐出量: (50cc キャブレター車比) 約 2.3 倍 (カブ 50/110 AA04/JA10 比) 約 1.4 倍 ※排気量アップやオイルクーラーの併用時に特にオススメです。	

- この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有り難うございます。説明文を良く理解し正しい取付を行って下さい。
- このパーツの取付には各種専用工具やパッキン SET が必要な場合があります。

製品、装着についての注意 (必ずお読み下さい)

- 取付の際、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルと合わせて取付作業を進めて下さい。
- このパーツはレース専用部品となり保障対象外となります。組み込んだ車両での一般公道走行はできません。組み立てミス、セッティング不良等による事故、パーツの破損等については全て本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんので御了承下さい。
- 当製品はオイルポンプの吐出量及び、潤滑量を増大する事で、特に排気量を上げた際の冷却性能の低下、オイルクーラーの装着による油圧低下の改善が期待できます。
- 組み付け不良やセッティングミスによるミッション及び、エンジンその他関連パーツの破損やそれに伴う事故等については全て本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
- 取付説明書の手順通りに正しい取付をして下さい。又、記載されていない追加加工はしないで下さい。
- 破損、事故の原因にもなります。
- 組み付け及び、セッティング作業は必ず整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず、専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
- エンジンの振動により、ボルト、ナット類が緩む可能性があります。走行前は必ず、各部のボルト、ナット類の締め具合を確認して下さい。
- このパーツは車種専用設計されていますので、他の車種への流用はできません。

	当用紙はオートバイ整備の基本的な知識を持った方を対象にしています。技能や知識をお持ちにならない方は作業を行わないで下さい。		火気厳禁 作業中は引火性の非常に高いガソリンを使用しますのでタバコ等は厳禁です。
	回転しているギヤや他の回転している部分に手を触れないこと。タイヤ等回さないように注意して下さい。		エンジン作動中、作動後はシリンダーやクランクケース、エキパイ等が大変高熱になっていますので、不用意にふれてはいけません。
	06-6783-5311		お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに走行を停止して、当社まで、ご連絡下さい。

- 取付手順
※以下の手順と図は、モンキー系ウルトラクラッチ KIT 装着車の作業概要になります。スーパーカブ 110 (JA07/10) および、その他車種についても必ずサービスマニュアル等と合わせて取付を行って下さい。

- ※ オリフィス (オイル通路) 拡大加工について (既にΦ 2.0 に加工済みや、カブ 110 (JA07/10) に装着する場合は必要ありません。)
- ※ ハイパーオイルポンプの吐出量に対応する為、クランクケースのシリンダー接続部にあるオイル通路 (オリフィス) を、ドリルでΦ 2.0 に拡大加工してください。
- 1 エンジン底部のドレンボルトを外し、エンジンオイルを抜き取ります。抜き取った後、必ずドレンボルトを忘れずに締め付けて下さい。
- 2 右側のクランクケースカバーを取り外しますので、それに伴うキックペダル、クラッチワイヤー、ステップ等を外します。またオイルポンプスピンドルを交換する場合はクランクケースを分解しますので、エンジンを車体から降ろします。
- ※ 車種、年式により取り外すパーツが異なりますので、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルを参考に脱着して下さい。
- 3 クランクケース右側から M6 ボルト計 8 本を外し、右側クランクケースカバー、右側クランクケースカバーガスケット及び、ノックピン 2 本を取り外します。
- ※ 取り外しにくい場合は、接続面周囲をプラスチックハンマー等で軽く叩くと取り外し易くなります。
- ※ クランクケース及び、クランクケース接続面にガスケットが固着している場合は接続面に傷を付けないように注意してスクレーパー等で除去して下さい。
- 4 M6 ボルト 3 本を外して、ノーマルオイルポンプ及び、オイルポンプボディガスケットを取り外し、付属の新品のボディガスケットと当社製オイルポンプと交換します。
- ※ 取付の際、オイルポンプのドライブシャフトとオイルポンプスピンドルが噛み合っていることを確認して下さい。
- ※ スピンドルカラーはオイルポンプスピンドル径φ 5.5 以外の車両には使用できませんので、注意して下さい。
- 5 取り外したパーツを全て元通りに戻して作業終了です。スピンドルを交換する場合はメーカーサービスマニュアルもしくはお手持ちのボアアップ KIT の取付説明書を参考に作業を進めて下さい。
- ※ 組み付けの際、右側クランクケースカバーガスケットは必ず新品を使用して下さい。
- 6 エンジンオイルを規定量入れてからエンジンを始動させず、キックでクランクシャフトを回転させてからオイル漏れが無い、油圧が上がっているかを良く確認して下さい。油圧が上がらないようであれば組み込みに異常が無い確認して下さい。

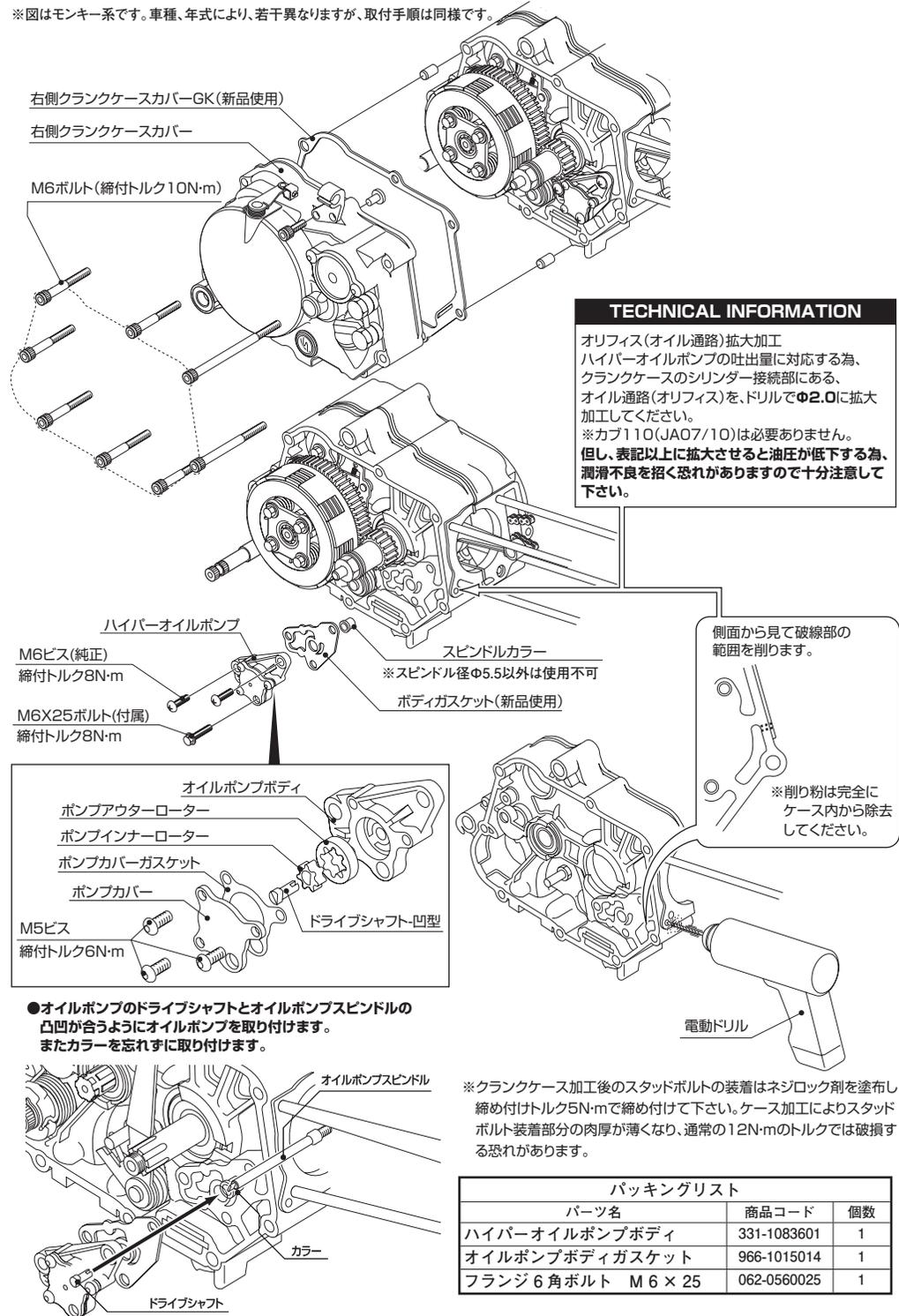
製品の保証について

- 製造には万全を期しておりますが、万一方社の製造上の原因による品質不良がありました場合は同様、同数の新しい製品とお取り替え又は無償修理致します。但しそれに伴う故障、破損、事故等についてのパーツの代金、修理保証、整備費用等の代償はご容赦下さい。
- 当社製品の保証期間は商品購入後から 6 ヶ月です。

170619 M-T
〒 577-0015
東大阪市長田 3-8-13
TEL.06-6783-5311 (代)
FAX.06-6782-0740



※図はモンキー系です。車種、年式により、若干異なりますが、取付手順は同様です。



TECHNICAL INFORMATION

オリフィス (オイル通路) 拡大加工
ハイパーオイルポンプの吐出量に対応する為、クランクケースのシリンダー接続部にある、オイル通路 (オリフィス) を、ドリルでΦ 2.0 に拡大加工してください。
※カブ 110 (JA07/10) は必要ありません。
但し、表記以上に拡大させると油圧が低下する為、潤滑不良を招く恐れがありますので十分注意して下さい。

側面から見て破線部の範囲を削ります。



※削り粉は完全にケース内から除去してください。

右側クランクケースカバーGK (新品使用)
右側クランクケースカバー

M6ボルト (締付トルク 10N・m)

ハイパーオイルポンプ
スピンドルカラー
※スピンドル径φ5.5以外は使用不可
ボディガスケット (新品使用)

M6ビス (純正) 締付トルク 8N・m
M6X25ボルト (付属) 締付トルク 8N・m

オイルポンプボディ
ポンプアウターローター
ポンプインナーローター
ポンプカバーガスケット
ポンプカバー
ドライブシャフト凹型
M5ビス 締付トルク 6N・m

●オイルポンプのドライブシャフトとオイルポンプスピンドルの凸凹が合うようにオイルポンプを取り付けます。またカラーを忘れずに取り付けます。

オイルポンプスピンドル
カラー
ドライブシャフト

※クランクケース加工後のスタッドボルトの装着はネジロック剤を塗布し締め付けトルク 5N・m で締め付けて下さい。ケース加工によりスタッドボルト装着部分の肉厚が薄くなり、通常の 12N・m のトルクでは破損する恐れがあります。

パッキンリスト		
パーツ名	商品コード	個数
ハイパーオイルポンプボディ	331-1083601	1
オイルポンプボディガスケット	966-1015014	1
フランジ 6 角ボルト M 6 × 25	062-0560025	1